

勅使河原蒼風 華道家。若くして{草月流}を創始、<敗戦>後、生け花の造形芸術化と大衆化を飛躍的に進めた。
てしがはらそうふう
ピア/国産化・1900 = 大阪府で、華道家の子に生まれる。

日露戦争終・1905 = 5歳：

幼時より父にいけばなを習うが、

伊藤博文暗殺1909 = 9歳：

明治天皇没・1912 = 12歳：

本格政党内閣1918 = 18歳：

原敬首相暗殺1921 = 21歳：

父の和風理念と相容れず、従来の床の間生け花から解放された誰でもできる生け花を目指すようになり、

金融恐慌・1927 = 27歳：*東京青山で、草月流家元として独立。
共産党事件・1928 = 28歳：千疋屋ギャラリーで第1回草月流展を開き流麗な抛入、盛花の自由な造形が目目され、
世界恐慌・1929 = 29歳：*廃物利用の花器に盛った庶民的生け花を「主婦之友」に発表して、急速に草月流の名をひろめた。
海軍軍縮条約1930 = 30歳：*美術界に起こったアバンギャルド運動の影響を受け、中山文甫、重森三玲らと「新興いけばな宣言」を発表、従来の床の間のいけばなからの解放、だれにもできる抛入、盛花を主張し、著名いけばな作家となる。
満州事変・1931 = 31歳：

二二六事件・1936 = 36歳：

日中戦争始・1937 = 37歳：

日米開戦・1941 = 41歳：

敗戦・・・1945 = 45歳：*敗戦直後、小原豊雲と小品花を展示、戦災に打ちひしがれた人々に光明を与え、自らも転機となり、
毛糸、針金、ガラスなど日常身の素材によるオブジェで草月流を大衆化する一方、枯木、樹根、壺、石、鉄、陶器などを使ってバロック的なモニュメントを制作し、いけばなを造形芸術としてとらえ、

三大事件・1949 = 49歳：「再建の賦」「玄華」から、

独立回復・1951 = 51歳：「車」「ひまわり」など、傑作を次々と発表。

メテ-事件・1952 = 52歳：ニューヨークの国際フラワーショー審査のため渡米。

自衛隊発足・1954 = 54歳：サン・パウロ芸術祭、

55年体制始・1955 = 55歳：パリのバガデル宮殿の個展で、「花のピカソ」と称賛され、親交を得たアンフォルメル師の指導者M.タビエの支援で、以後、欧米で彫刻個展を開いて行く。

なべ底不況・1957 = 57歳：ミラノ・トリエンナーレ、

美智子妃・1959 = 59歳：芸術運動の拠点ニューヨーク・パリ・バルセロナで個展を開き、アンフォルメル作家として名声を博する。

安保闘争・1960 = 60歳：

タイタイ病始・1961 = 61歳：日独修交百年記念文化使節、

TV宇宙中継始1963 = 63歳：パリの世界現代芸術巨匠展、

大学紛争始・1965 = 65歳：ベルリン芸術祭などに参加。

いざなぎ景気1966 = 66歳：流派を統合して日本いけばな芸術協会を設立し、理事長となったが、

大阪万博・1970 = 70歳：免許料など5億円脱税容疑で国税局に強制捜査され、

日中国交回復1972 = 72歳：

石油ショック1973 = 73歳：

晩年は「古事記」連作に取り組んだ。

革新大敗北・1979 = 79歳：没した。

「この人どんな人」、平凡社百科事典、